

富士市立高等学校 学校運営協議会		第29回	会議要旨 (令和4年度)
開催日 令和4年11月14日 火曜日 開 会 14時00分 閉 会 16時30分	会議場 富士市立高等学校 2階 会議室		
出席者			
【学校運営協議会委員】			
一条聖恵 加藤 寧 小泉彩子 塩田真吾 畑 隆 畑 裕美 深澤秀文 櫻井祥行			
※茅原由美委員、齋藤しずく委員、佐野明委員は所用のため欠席			
【オブザーバー】			
若田泰一 井上美千子			
※塩崎克幸先生は所用のため欠席			
【市立高校教員】			
小塩宜浩 上野朋子 見城喜哉 中里 健 小林雄一 後藤大輝 佐野大悟 大森昭仁 杉山秀幸			
【市立高校職員】・【市教育総務課】			
青木 洋 前田勝巳 斉藤 雅 渡邊孝広 山田英雄 *敬称略			
開会			
校長挨拶			
<ul style="list-style-type: none"> ・(着任して)半年が経過し、挨拶ができる生徒は8割で、2割はできていないと感じる。分析していくと、人と関わりたくないということで、自己肯定感が下がっている生徒が見受けられる。その生徒たちの自己肯定感をどのように高めたらいいかを学校として考えている。学校は部活動での活躍や大学への進学をよく口にするが、学校に毎日来るといふこと、安全で安心な学校が一番大事だということをこの半年で強く感じた。 ・国も県も探究ということを盛んに言っている。本校の教員たちは10年やっていて、かなり先進的だが、探究をやって何が生まれるのかということが大事。探究学習をして何が生まれたかを半年間見れていたが、「自分の考えを言語化して話ができる」というのは非常に大事なことで、先日の探究発表会で「自分スピーチ」を3年生が行ったが、委員の皆様にはこうした効果があるというのを見てほしいと思っている。 			
会長挨拶			
<ul style="list-style-type: none"> ・本日は前半が授業参観、後半は探究学習を始めとする学校からの報告ということで、この富士市立高校の教育について、私たちが理解を深めていく場である。探究学習の実情や授業での生徒の様子も拝見し、協議会として意見を深めていきたい。 			

学校活動の近況について

- ・令和4年度優良 PTA 文部科学大臣賞に本校の PTA 活動が認められ、表彰を受けた。静岡県を代表してこのような賞を受賞したことを紹介したい。
- ・総合探究科3年生の社会探究βでの取り組みが財務省の冊子で紹介された。東海財務局の協力の下に財政教育プログラムを活用した授業を実施している。税や財政に関する講義や予算編成シミュレーションを体験し、将来のために日本の税と財政を考えるというテーマで探究を行った。
- ・今の3年生が2年生の時に市役所プランで提案した「学校給食のメニューを販売して、その売り上げをこども食堂に寄附する」という取り組みの一環で、実際に富士市の給食で出てくるサイダーかんを販売したが、かなり盛況ですぐに売り切れてしまった。このように市役所プランで考えたものが実際に形になっていることも紹介したい。
- ・今年度の南陵祭体育の部は、昨年度までは制限的に実施をしてきたが、今年は学校医の意見を伺いながら、生徒自身が感染対策も考えて実施した。生徒の運営だったこともあり、午後5時ぐらいまで時間がかかってしまったが、終了後のアンケートでは、子どもたちは非常に満足度が高かった。コロナでなかなか行事ができずにいたこともあり、満足度が高かったと思う。
- ・生徒募集では、1日体験入学を8月3日に行い、518名の中学生が参加した。午前と午後の2部構成で行い、高校生による学科の説明、卒業生による高校生活、授業体験等を行った。10月1日にはオープンスクールを行い、中学生と保護者、学校関係者等、100名ほどの方に授業や探究発表会を見ていただいた。学校見学会も9月から水曜日に5回、土曜日に2回実施し、トータルで150名ほどの中学3年生の生徒に参加していただいた。

部活動の近況について

- ・生徒会では生徒の意見を意見箱に入れてもらい、いろいろなことを検討している。そのなかで、靴下や靴、スクールバッグの指定について、生徒及び生徒課の教員で検討している。生徒の自主性を尊重しながら、時代に合わせて校則等を見直すということを行っている。
- ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）で、スポーツ探究科1年生、陸上部の小針さんが女子100メートル、200メートルにおいて僅差で2位という成績を収めた。また、総合探究科3年生、水泳部の内藤さんが3メートル飛板飛込シンクロナードで、浜松の生徒と2人で出場し、全国2位となった。3メートル飛板飛込は出場、高飛込では決勝まで進んで12位だった。
- ・国民体育大会では、スポーツ探究科1年生の小針さんが少年少女B（高校1年生と中学3年生）で全国優勝した。女子400メートルリレーでも静岡県の代表として5位になった。また、なぎなた競技は部活動としてはないが、ビジネス探究科3年生の渡邊小暖さんが、静岡県の代表で出場し、ベスト16に残った。
- ・ジュニアオリンピックカップ U-18 日本陸上競技大会では、スポーツ探究科1年生の小針さんが女子100メートルで優勝。同じくスポーツ探究科1年生の篠原柚葉さんが100メートルハードルに出場した。
- ・チアリーダー部は全国高等学校ダンスドリル選手権大会 2022、SONG/POM 部門 Small 編成で5位入賞した。

- ・スポーツ探究科3年生の金指さんが日本高等学校ゴルフ選手権で33位タイ、日本ジュニアゴルフ選手権で15位タイという結果でした。
- ・全国ジュニアオリンピックカップ水泳大会では、総合探究科3年生の内藤さんが3メートル飛板飛込で8位、高飛込6位という結果だった。
- ・東海大会もしくは関東大会の結果ということでは、サッカー部男子が東海プリンスリーグに出場している。また、ビジネス探究科3年生の八木伊織さんが東海地区高等学校商業実務総合競技大会(簿記の部)に出場した。

授業参観 学校内を見学しながら、各授業を参観していただいた。

授業参観に関する質疑応答

(意見・質問等)

・英語の授業を見て驚いたのは、すらすらと書いてしまうところ。探究で表現するのに慣れているのか、3年生だから受験があって書けるのか。中学生ではすぐに書けないと思った。探究の表現する部分が活着していると感心した。

(意見・質問等)

・電子辞書をみんな持っていたが、高校生はまだパソコンは使っていないのか？

(回答)

・来年から1人1台支給する。

(意見・質問等)

・校内のネット環境はもう大丈夫か？

(回答)

・1月には整う予定である。

(意見・質問等)

・数学の授業も面白かった。聞いているだけでわくわくしてきた。気さくな先生で子どもたちも楽しんでいて良いと思った。ずっと聞いているだけというのは子どもも大変。あのように自分たちで考える活動が入っていると違うと思った。

(意見・質問等)

・英語の授業を見た時、先生が少し日本語を言っただけで、あとは英語を生徒が全部理解して学習しているのは感心した。数学も先生の教え方が上手で、興味を呼び起こすような教え方が素晴らしかった。ただ、1年生のスポ探で生徒がかなり疲れていて、深い眠りに入っていたのが気になった。数学の先生の教え方を先生たちで共有した方が良いと思った。

(意見・質問等)

・印象的だったのは元気な先生で、生徒との距離感が近いと、問いかけても生徒も答えやすく、活発な空気になると感じた。来年度からタブレットが支給されたら、きっとまた面白い授業になっていくと思った。もう小、中学校ではタブレットが支給されて子どもたちは使いこなしている。その子どもたちが入学してくるので、また面白い授業になっていくのではないか。

(意見・質問等)

・1つだけ気になったのが、1教室だけ非常に暗い教室があった。おそらくスクリーンが見えるように意識していると思うが、手元が見えない。ひたすら説明を聞いているだけだと多分つらくなると思う。教室の明るさや先生の声の大きさ等、今はマスクもしているので、生徒が学びやすい環境設定が必要だと感じた。

(意見・質問等)

・廊下に出た時点で、挨拶をしてくれる生徒が多かったのが良かった。やはり元気なク

	<p>ラスの生徒は、先生に対しフレンドリーに聞ける。先生が元気で、クラスの雰囲気は明るい方が、多分子どもたちも楽しく、聞く気にもなる。一方的に講義を聞くというのは本当に辛い。やはり先生方の工夫も必要で、子どもたちの聞く姿勢というところも指導していきたい。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・最も関心させられたのは、子どもたちの学ぶ意欲が高いこと。今日見た教室のほとんどの子どもたちが、この時間は何をやるのかが分かっていた。また、先生が隣と相談するように指示した時、男女関係なく話していた。中学生だと男女の照れがあって、学習が阻害される要因になることも多いが、市立高校の生徒たちは関係なく、自分の思ったことを隣の子に相談できる環境があることに驚いた。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・高校の先生方はそれぞれ教科も違い、研究されていることも違うと思うが、自分自身の授業の力量を高めるために、どのような研修をされているのか？</p>
<p>(回答)</p>	<p>・年2回、お互いの授業を見合う授業見学週間がある。教科内でもお互いに授業を見せ合ったり、教材等を共有したりして、子どもたちが学びやすいような教材を作ったりしている。教科内での話し合いも盛んに行っていると思う。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・今、幼稚園と小学校、小学校と中学校の交流が非常に盛んになってきているなかで、中学校と高校の先生方と関わるのが大事だと思う。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・先生方が自分の持ち味があり、教え方に個性があって惹きつけられた。数学の先生の語り口や地理の授業での写真を見せての説明は非常に魅力的だと感じた。</p>
<p>(意見・質問等)</p>	<p>・英語について、これは出過ぎた意見になってしまうが、3年生の英語を拝見して英語表現という趣旨は分かるが、11月なので受験問題に切り込むようなことも取り入れていくべきではないか。英語のカリキュラムにそういうものも必要だと感じた。</p>

学校からの報告

◇探究学習について

- ・開校時から「学校の教育活動全体で探究を実践する」という目標がある。それをまず究タイムと学科研修でスタートして、それを全体に広げていくということで進めてきたが、12年目を迎えて状況がとても良くなってきている。
- ・究タイムでは、今年は1年生でA Iチャレンジという活動をソフトバンクと協働で行った。モデル校ということで、ソフトバンクから担当者も来校し、今後はA Iを使いこなす人材が必要だというメッセージを生徒に送ってもらった。先生方も初めてのチャレンジでなかなか難しいところもあると考えていたが、生徒も先生方も非常に前向きに取り組んでいただいた。
- ・1年生ではもう1つ、Edtech という経済産業省が進めている事業に参加し、その認定校として、Inspire High というプログラムを実施した。このプログラムでは、世界で活躍している方とオンラインで繋がることができ、生徒は非常に楽しそうに取り組んでいた。パソコンを使って何かをするということにすごく慣れているんだなということも分かった。来年から1人1台端末を持つ準備にもなったと考えている。

- ・2年生では例年と同じく市役所プランを行ったが、今回は発表会での優秀者が市役所で政策提言という場をいただいた。生徒は高齢者がスマホを使えないデジタルディバイトという状況を救いたいということで、高校生がスマホ教室を開くという提案をした。
- ・市役所プランでは、田子浦中学校の先生にも指導の協力をしてもらい、逆に本校からも田子浦中学校の発表会に参加をした。今年是这样した中高の関わりを作ることもできた。
- ・本校の探究の特徴として、社会とつながるということを重視してきたが、積極的な授業実践が増えてきている。これまでの社会探究や商品開発、スポーツ探究科の授業に加え、国語や英語、家庭科、さらには大学野球のオータムフレッシュリーグといった企画も行われた。

◇学科研修に関する報告

①ビジネス探究科

- ・7月19日に、元SBSアナウンサーの小沼みのりさんが来校し、働いてきたなかでの苦労や壁に当たったこと、それを乗り越えた経験等を話していただいた。
- ・8月31日からの集中研修では、1年生はあずさ監査法人や証券業組合等の講話、校外では藤枝市にある明治の工場と富士山静岡空港の見学を行った。
- ・2年生は11月末から行う国内探究研修につながる研修として、羽田空港と日本航空のテクニカルセンターを訪問した。コロナ以降初の団体受入れということだったが、日本航空の方のおかげで大変充実した研修となった。
- ・3年生は、今年も富士商工会議所青年部の皆様に協力していただき、富士市内約30社でインターンシップを実施できた。就労体験だけでなく、経営者の方々から経営理念や働くことの意義を学ぶことができ、大変良い研修となった。生徒アンケートでも、参加した生徒の8割近くが将来富士市で働きたいと答えてくれたので、この研修の意義があったと思っている。
- ・11月末からの国内探究研修では長崎県を訪問する。ジャパネットたかたが今、長崎スタジアムシティプロジェクトということで、サッカー場を中心に1つのまちを創っているが、そちらを訪問し、視察と担当者による説明を計画している。また、ハウステンボスを訪問し、経営講話として話を聞く予定になっている。
- ・商業科は、新学習指導要領で観光ビジネスに注目が当たっている。長崎県は観光に力を入れているので、観光ビジネスの面でどのような取り組みや仕組みがあるのかも学んできたい。

②スポーツ探究科

- ・スポーツVという授業で野外活動を夏に実施した。1年生は山中湖にあるカーリングクラブで、日帰りでカーリングを体験した。生徒はカーリングを体験することで、自分の専門種目との共通点を発見し、初めて体験するスポーツで気づくことも多かったようだった。冬には1月30日から2泊3日でスキー研修も計画している。
- ・2年生は、山中湖のキャンプ場でキャンプとカヌー体験を実施した。県内のキャンプ場を視察し、オートキャンプ場ではなく、より自然に近いキャンプ場を選んでいる。
- ・今回、コロナ以来3年ぶりの野外活動で、初めての教員も多かったが、それがプラスの面もあって、新しい先生方がアイデアをたくさん出してくれた。キャンプについても、今はグランピングの人気

が高いので、これまでの良いものは残しながらも、楽しく安全でより快適にキャンプを行うという方へシフトしてもよいのではないかという意見も出ている。

- ・コロナの関係でキャンプに参加できなかった生徒が、12月7、8日に富士宮市の井之頭でキャンプを行う。その時に、より快適にキャンプをすることにチャレンジしたい。
- ・3年生は富士登山を行い、1日目に9合目まで登って宿泊をしたが、翌朝が大雨と強風で、安全第一で下山した。全員が無事に下山でき、9合目で雲海がきれいに見えたのを生徒たちが感動していたので、それは良かったと思っている。
- ・11月末からの国内探究研修では、沖縄県の石垣島に行く。普段経験できないスポーツの体験と平和教育につながる研修を予定している。

⑨総合探究科

- ・どの学年も外に出るのは3年ぶり、1年生は県内で研修先を探した結果、静岡市にあるトヨタユニテッドと静岡県立大学にお願いして、研修を実施した。トヨタユニテッドでは、キラキラ探検隊という企画に対して、高校生目線で改善点を提案するという活動を2日間で行った。初日は伊東、沼津、静岡2か所、島田、藤枝にグループで分かれて実際に企画に参加し、2日目に静岡のグランシップで自分たちの考えを資料にまとめ、トヨタユニテッドの役員の方々に発表した。
- ・2年生は、浜松にあるJ A A Cという日米学術センターに協力してもらい、10人ほどの外国人をメンター役として招き、3日間英語漬けの交流活動を行った。
- ・3年生は社会課題解決ツアーと題して、リディラバという企業に協力してもらい、社会課題の起きている現場をバスツアーする研修を実施した。
- ・11月末からの国内探究研修では、2年生が大分県の別府にある立命館アジア太平洋大学を訪問する。日本で一番外国人の在籍率が高い大学で、日本の大学とは思えない環境で色々なことを生徒に感じてもらいたい。

◇令和4年度進路状況報告

- ・11月現在ということで、半分以上の生徒がまだ決まっていない状況であるが、就職に関しては21名が学校紹介を利用し、そのうち3名が第1希望は通らなかったが、第2希望で就職の内定をいただき、現在全員が内定をいただいている。
- ・4年生大学、短大、専門学校では、学校推薦型の出願の多くが11月なので、まだほとんど決まっていない状況である。現在、担任をはじめ、学校全体で生徒の進路の実現に向けて、個別に指導している。これが良い結果に繋がることを期待している。12月には学校推薦の結果が出て、その後年明けの一般選抜まで戦う生徒がいるので、状況が変わり次第報告をさせていただきたい。

質疑応答

(意見・質問等)

・探究学習では、市立高校を卒業した自分の娘を見ていて、自分の表現ができるようになったということを強く感じているので、この学習方法は続けてほしいと思う。

(意見・質問等)

・生徒の発表の様子を見ると、やはり物怖じせずしっかり発表できると、問題解決の方法をよく理解していると感じる。課題に対してしっかり現状把握して、データに基づいて考えを決めている点は、社会に出ても通用すると思う。この形をずっとでき

	ば、「自律する若者」が育成できると思う。
(意見・質問等)	・地域との連携も富士市立高校らしくて良い。それを前面に出せば、もっと生徒も来る。
(意見・質問等)	・先ほど説明いただいたA I チャレンジは非常に先進的な試みである。市役所プランの提案も着眼点が非常に良く、地域の高齢者の潜在的ニーズに合致した内容で、聞いていて関心した。
(意見・質問等)	・今の1年生、2年生の取組をオープンキャンパスで伝えるとか、広報的なことはどのように行っているのか？
(回答)	・探究学習は本校の売りだと市でも認識してもらっている。中学生へのPRとしては、今年から単なる学校説明ではなく、探究学習を再現するような学校紹介を各中学校での説明会等で行っている。これが1月、2月になって、生徒募集につながることを期待している。
(意見・質問等)	・以前も本当に感心したが、今回も探究学習に触れることで本物に触れる、人と関われる、本物の学びができるということで、子どもたちの学習の満足感がきっとあると思う。そこで、保護者の反応はどうかというのが気になって、探究活動に対する保護者の感じ方、あるいは自分の子どもの市立高校での学びに対してどう思っているのかというのが分かれば教えていただきたい。
(回答)	・しっかりとデータを取ったわけではないが、普段の保護者との会話からは満足度が高いと感じる。他校に負けない活動をしているので、その辺は評価が高いと思うが、今後はしっかりデータを取っていきたい。
(意見・質問等)	・連携の一覧を見て、このように色々なところと連携しているのは非常に良いと思う。伺った生徒の提案も、地に足がついた良い問いから始まっており、このように色々なところと繋がることで、新聞に出なくても情報が自然と広がると思う。社会につながる学びというテーマが今後も必要で、中学校も学んでいかなければいけないと思う。
(意見・質問等)	・ぜひ色々なところとつながり、色々な問いを解決していき、発表したら終わりではなく、そこから先へと活動ができていくと、さらに面白いのではないかな。
(意見・質問等)	・南陵祭の体育の部は毎年生徒主体でやっていて、去年も様々な制限があるなかで、子どもが工夫したものをを見せてもらって感動を覚えたが、今年は十分な形でできたということで良かったと思う。今度の国内研修も、実際行けるかどうかの判断が難しいと思うが、調べて結局行けないのは残念なので、実施できるような方向を願っている。
(回答)	・予定通り行きます。
(意見・質問等)	・修学旅行ではなく研修という意味がよく分かる説明だった。先生方も非常に熱心に勉強されていると思った。今まで海外に行っていた代わりに、立命館アジア太平洋大学を持ってきたところが良いと感じた。
(意見・質問等)	・子どもに探究を教えるなら、先生方もそのつもりでやらなければいけないという意気込みを強く感じて、素晴らしいと思った。
(意見・質問等)	・3つの探究科とも色々なところにコンタクトを取って、準備をしてきたことに対し、

<p>(意見・質問等)</p>	<p>先生方の情熱を感じ、関心させられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの科の探究プログラムも本当に魅力的でオンリーワンだと思った。特にスポーツ探究科長が話された内容に心が大きく動かされた。富士市もスポーツによる地域振興を掲げていると思うので、スポーツ探究科の生徒にはスポーツビジネスの担い手になってほしい。きっとこうした勉強をすればなれると思ひ、とても素晴らしいと感じた。
<p>(意見・質問等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員も話したように本当に素晴らしい取り組みだと感じた。(一方で、) これをずっと続けているとマンネリ化してしまうのが大きな課題だが、そのマンネリ化に対しても、細かいところも含めてブラッシュアップに取り組んでいる。先生方も探究的に改善していて、非常に富士市立高校は頑張っていることが伝わってきた。
<p>(意見・質問等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あえて課題を2点お話をさせていただくと、1つ目は「探究の次のステージ」。ある程度完成されてきているとは思いますが、それをどういうふうに広めていくのか。教科での探究も含めて、富士市立高校がフロントランナーとして次のステップが提案できればいいと思う。他の学校も探究をやっているから、そこでやはりさすが富士市立高校となるような次のステップがほしい。2つ目は、話題提供に近いが、今、私の研究室で力を入れているのがキャリア教育における余暇。これまでキャリア教育というと、仕事や進学ということがメインだったが、それに加えて人生をどう楽しんでいくか。そうした余暇教育を少しずつやっていかないのではないか。狭い意味のキャリアでなく、ライフキャリアのような広い意味で捉えていくことも今後重要だと思う。
<p>(意見・質問等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に充実した教育内容だということが分かったが、最初に校長先生が話した「自己肯定感が下がってしまっている生徒」についても、探究を活かしてかは分からないが、その子たちの課題解決を外部の力を借りるなどして突き詰めていただきたい。
<p>(意見・質問等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の3年生は入学式が終わった次の日から休校になって、私の友人の子どもも高校3年生だが、ずっとマスクをしていてクラスメイトの顔もあまり分からず、行事もことごとくつぶれてしまった。(そうしたなか) 3年ぶりの探究研修にが皆さんが楽しく安全に行けることを願っている。
<p>(意見・質問等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほども話題に挙げた登校拒否の問題だが、小中学校もかなり人数が増えている。特に1年生の今の時期が最も怖い。学校が楽しいところだということを先生方も色々考えてくれているとは思いますが、その予兆を早めに見てもらいたい。
<p>(回答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1台端末について、学校から状況を報告したい。本校では今年度中に生徒1人1台、720台の端末を国の補助金を活用することができたので、生徒、保護者の負担をゼロで揃えられる。端末については、既に小中学校で慣れ親しんだ Windows で、機種はマイクロソフト社の surface という高いスペックのパソコンを導入する。このパソコンを使って、プログラミングや A I の授業などを進めていく予定である。
<p>閉会</p>	